

J Aグループ鳥取自己改革推進レポート（7月号）

（1）J A大会スローガン横断幕の作成（J A鳥取県中央会）

第49回J A鳥取県大会ではJ A自己改革の組織内外へ向けた情報発信強化を一つのキーワードとしている。その情報発信の取り組みとして中央会は、大会スローガン横断幕を作成し、J A会館の中央会事務所と情報発信室に掲示した。

これまでも懸垂幕の設置等行ってきたが、J A自己改革の促進のためには組合員・役職員が共通認識を持ち一体となった取り組みが必要である。今後も継続的に情報発信の取り組みをすすめていく。



（2）J A全農とつとりのJ A自己改革の実践

① 「鳥取TAC通信」を発行！！

「鳥取TAC通信」を毎月作成し、担い手に向けた情報を発信している。

県下3J Aや担い手農家、営農組織の方々へ「TAC」の取り組みへの理解とともに営農における情報提供、情報発信（農産物の販売関係から農作業の省力化技術、低コスト、新情報、新技術の紹介、イベント等の案内）を目的としている。毎月325部をいなば・中央・西部の担い手農家、営農組織へ訪問して配布している。



② 今年も東京駐在で「鳥取のおいしい」をPR

毎年6月中旬から7月上旬にかけて園芸部職員を東京市場に派遣している。鳥取県産農産物の全国への販売状況を把握するため、京阪神だけでなく首都圏での販売促進や市況調査などを行っている。今年も、「鳥取すいか」を全国へ、そして世界へ届けていく。



（3）J Aバンク「ビジネスマッチング」への取り組みについて（J A鳥取信連）

J Aバンクでは今年度より毎月、農林中央金庫の本支店および各県信連が参加したテレビ会議を行い、農業法人等のニーズ情報（売買ニーズ等）を相互交換して、各団体の取引先に情報提供する取り組みを行っている。

この取り組みは、農林水産業者に対し新たな販売先等との商談の場を提供し、販路拡大促進、収益力強化に向けた支援につながる取り組みである。現在、県内においても継続的に農業法人等に案件を紹介し、ビジネスマッチングに取り組んでおり、今後も、本取り組み

を継続し、川上（農業者）と川中・川下企業との架け橋・コーディネートを行うことにより、農業者の所得向上を目指していく。

（４）平成 30 年度 J A 自動車共済利用者満足度調査結果について（J A 共済連鳥取）

J A 自動車共済では、J A 自動車共済利用者の事故対応サービスに対する評価およびニーズの把握と事故対応サービスの質的向上等を目的として、平成 18 年度から自動車共済へ共済金請求をされた契約者を対象に利用者満足度調査を実施している。

調査の特徴として、「総合満足度」の総合評価の他に、より契約者の声に耳を傾けられるよう、「事故連絡時の対応」、「現場急行での対応」、「初期対応」、「途中経過報告」等の事故処理の工程別に設問を設定し、「どの場面で、どんな対応に、不満を持たれたのか」等のシチュエーション毎の不満を把握し分析することで、利用者満足度向上に向け改善活動に取り組んでいる。

平成 30 年度の「総合満足度」は、95.3%（全国順位は 9 位）と全国平均と比較して 1.3 ポイント高く、目標である 95.0%をはじめ達成することができた。

また、各工程別の満足度についても、全国平均を上回る工程が多い状況にある。

令和元年度では、さらなる利用者の満足度向上に向け、契約者対応業務（事故受付、現場急行サービス）を担う J A と損害調査業務を担う連合会が一体となり、事故対応サービスの質的向上を目指して取り組んでいく。

◆平成 30 年度 自動車共済利用者満足度調査の結果

アンケート回収月：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

（単位：％、位）

	事故連絡時の対応	現場急行の対応	事故処理の初期対応	途中経過報告	支払内容の説明	事故解決までの時間	総合満足度	全国順位
鳥取県	93.8	95.7	95.6	93.2	95.7	94.1	95.3	9
全国	96.5	95.6	95.0	92.1	94.3	92.8	94.0	